

平成 30 年度 第 1 回燕市男女共同参画推進審議会 会議録

日 時：平成 30 年 5 月 28 日（月）午後 2 時 30 分～午後 4 時

場 所：燕市役所 4 階 会議室 401

出席委員：渡邊洋子委員、杉山博人委員、小林知弘委員、清水麻子委員、
中野弘行委員、丸山朝子委員、山田直子委員（7 人）

欠席委員：黒川優子委員、宮路聡委員、柳原康浩委員（3 人）

事務局：企画財政部長、企画広報主幹、地域振興課長、地域振興課長補佐、
地域振興課事務局 2 人

報道機関：0 社

傍聴者：0 人

1. 開会

2. あいさつ

3. 第 3 次燕市男女共同参画推進プラン実施項目・評価シートについて

（会長）

本日はよろしくお願いいたします。いろいろ政治状況等を見た中で、先日、財務省で初めてセクハラ研修があったというのを聞いて驚きました。そういう国の方が政治の中心にいて、政治を動かしているというから「なぜ？」と思いつつ、燕市でもこのような包括的計画の中で地道に男女共同参画を進めていこうと取り組まれていますので、今日はぜひこれを一步一步進めて行くためにどうしたら良いか、着実に効果的な歩みを燕市が続けて行くために、自分たち個人や女性がまずは輝けるという、輝いている女性とともに男性がさらに輝いてそれで住みやすい、私たちが本当に燕市でこれからの人生を送っていこうと思える、みんなで発展していける燕市になるように、審議会も頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

まずは事務局から説明をお願いします。

<事務局から第 3 次燕市男女共同参画推進プラン平成 29 年度評価についての説明>

<質疑応答>

（会長）

ただいま事務局から説明がありました内容について質問、意見などありましたらご発言いただきたいと思いますがいかがでしょうか。

（委員）

実施状況の 3 項目、『課題ニーズの把握』等は、それぞれの事業ごとにこの 3 つの項目をしっかりと実施し評価することができるということですか。例えば、1 ページ目の課題ニーズの把握は空欄ですが、これは元々計画があつて実施しなかったのか、そ

もそも実施する予定がなかったのか。実施する予定がなかったのだとすればB欄の評価が③になるわけなので。そこだけ質問です。

(事務局)

各事業について、それぞれの段階において男女共同参画の視点を取り入れてほしいというものですが、なかなか難しいというものはあります。しかし、そのやり方を工夫することで取り入れることは全てにおいてできると思いますので、③の評価にならないということはないと思いますが、今の段階でこの事業を行うにあたり、空欄のところについては、その視点を取り入れていないというものになります。

(委員)

このまま29年度の結果を受けて30年度があると思いますが、今後は各項目で視点を取り入れてくる可能性があるということか。

(事務局)

その可能性もありますし、そのまま取り入れない可能性もあります。

(会長)

今の1について空欄だということですが、2の企画・立案についても書かれている内容が、『こういう表現をしないように配慮した』は、少し消極的と感じるが、それでも書いてあるから実施したことになるという評価でいいのか。

(事務局)

どうしても、自己評価ですので、内容はともあれ担当なりに記入できた時点で、評価が甘いかもしれませんが実施したものと評価しています。

(会長)

1つだけの見方ではなく、例えば、果たしてこれが企画・立案なのかといったら少し違うのではないかと、すごく消極的だと、そういう考え方も1つだと思いますが、このように男女平等参画の視点を常に持って事業に取り組んでもらう仕掛けとして、またこういうシートを用意した時にかなり意識して記載をしていただいたことを評価するという、どちらかというと言職員の啓発的な意味合いも含むのであれば、なるほどと取れます。少し回りくどい言い方をしましたが、できてないじゃないかと指摘するよりは、書かれているものはちゃんと評価して、記載内容の精度は指摘しながら高めていっていただくような雰囲気醸成していくということなのかなと私は思いました。

他に、ここに関わらないところでも構いませんので発言をいただければと思います。

(委員)

各事業でおおむねA評価ということですが、とりわけ指摘させていただくのは例えば6ページの社会教育課の中央公民館事業『カッコいいパパになろう』です。目標数値が40で実績が0、達成率が0%となります。シートにも書いてありますが難しいとはいえ0%となると、何かやっていたのか、もう一工夫する必要があったのではないかと思います。また、24ページの『燕市まちづくり出前講座』、これも未達成になっている項目です。目標値が20人で達成率0%。それと、39ページの『防災リーダー養成講座』、これも目標値に対する実績が0で未達成です。これも難しい部分があるのかなと思い指摘させていただきます。事務局からその部分で、シートに書いてあ

る他に付け加えて何かあれば。

(会長)

先程、会議前に、公民館事業については言いたいこともあると聞きましたので、それでは補足も含めてよろしくをお願いします。

(事務局)

『カッコいいパパになろう』につきましては、公民館事業として行っております。公民館事業は全般的に男性の参加が少ないということで、他市の事例をみるとこのような事業に男性の申込みが多数あるようなので、今回計画したところですが、しかし、参加募集の期間が短かったこと、周知方法も広報に載せた他にチラシを公共施設に少し配布した程度でした。また事業を計画して実際に動き出した時期が遅かったなど全体的に課題を残す内容であったと思われまます。

今年度もこの事業に取り組む予定ですが、時期を早めたり、周知方法についても保育園や小学校等々に配布するなりして広く周知を図る予定だそうです。

24ページの『出前講座』につきましては、申し込みがあると出前講座を行うものになりますが、年間2講座くらい望めるのではないかとということで目標を設定しましたが、申し込みがなく実績が0%となりました。

39ページの『防災リーダー養成講座』につきましては、毎回養成講座に数名の女性が参加しているという実績から目標を立てましたが、29年度は申し込みがなく0%になります。しかし、防災課も女性の防災リーダーに力を入れておりますので、後ほどご説明する予定でしたが、30年度につきましては女性だけを対象とした女性防災リーダー養成講座を開催する計画です。よろしいでしょうか。

(委員)

分かりました。しかしながらやはり、担当課による評価結果達成率0%なのにBと評価されてる点についても合わせて反省されたら良いと思います。それと、防災リーダーは『女性防災リーダー養成講座』と30年度は名称を少し変えているようですが、中身的には同じようです。女性のリーダーを養成だったら、もう少し内容も検討する必要があったのではないかと思います。あとはA評価のもので、達成率でいうと百何十%になっている、すごいものもあるようですが、おおむね、達成率が低いものについてはなかなか難しい部分もあるのかなと感じています。特に公民館事業と、それから地域自治会の方ですよね。そうすると自治会長さんにも意識を変えてもらわなければいけない部分もあるのかなと思います。

(会長)

関連して何かご意見ございますか。

(委員)

訂正してほしいということではなく、自分の理解不足もあり、そもそも論で今更言いにくいのですが、この男女共同参画という主旨で四十何項目とかなりボリュームのある項目数で、いろんな担当課が関わって毎年取り組んでいるようですけれども、この事業名を関連づけて評価まで行うことは、何か指標のような、統一した要綱のようなものがあるのかどうか、というように感じたのは、男女共同参画が必要だと思うような事業もありますが、これをここの事業として載せるのは厳しいのかなと思うよう

な、さっきの『防災リーダー』もそうですが、自分の仕事関連で 13 ページの『介護予防・日常生活支援総合事業』。これは介護支援制度が見直しされて軽度の方を地域住民で支えていこうというものですが、むしろこれは男性の参加を促したいところを、ここの指標を見ると目標 10 の実績 31、310%の達成率。例えばこういう項目とか、担当課は苦勞して事業として出されたのかなと感じました。

(事務局)

このプランを作成する際に、あらゆる分野・場面において、男女共同参画を推進するために作成しており、その中の『男女共同参画における男性の理解の促進』の一つの事業になりますが、この取組内容として『男性の育児・介護等への参画を推進するための交流会や講座等を実施します』という内容があり、関連する事業を行っている担当課に長寿福祉課も含まれておりますので、このプランの施策・取組内容に基づいた各課からの事業について出してもらっているのがこのシートになります。各事業ともプランに基づいた事業になっております。また先ほど言われた目標 10 人が実績 310%と達成率が突出しているものにつきましては、計画段階の目標値が消極的でしたので、30 年度は見直し修正しております。

(会長)

男性も介護に参画するという主旨があるのであれば、やはり目標値が男性の人数または割合にならないと、ただの介護人材の養成がメインととれます。男女共同参画は女性が少ない領域には女性の割合を、男性が少ない領域には男性の割合を増やしていくことですよね。だから、そういう意味ではどこが男女共同参画なのかという素朴な疑問が出てもおかしくないと感じました。

(委員)

こう見ると男性が 27.27%で、女性が 72.73%で圧倒的に女性が多いですね。

(会長)

310%で良かったでは意味が違いますね。大変重要なご指摘がありました。他にいかがでしょうか。

(委員)

29 年度の事業で、30 年度は削除されている事業がありますが、これはどのような経過でしょうか。

(事務局)

削除という訳ではありませんが、一つ減っています。後ほど説明する予定でしたが、資料 4 の 45 ページをご覧ください。資料 2 の 45 ページと 46 ページの事業を 1 つにまとめました。地域振興課のマザーズハローワークは『女性が輝くつばめプロジェクト推進事業』という地域振興課の事業の一つとして位置付けておりますが、実際に事業を行っているのは商工振興課になります。3 次プランの施策 21 の担当が地域振興課と商工振興課になっておりますので、29 年度は全く同じ事業について 2 課でシートを作成しました。しかし、地域振興課としては商工振興課の取組結果に依存するかたちになりますので、協議して 30 年度分は 1 つにまとめて作成させていただきました。この点についてご意見などあれば、元に戻すこともやぶさかではありません。

(委員)

女性が輝くつばめプロジェクト推進事業は、私も昨年審査する際に、挙がってきた件数が少ない中で熟慮して評価させていただきましたが、もう少し件数が挙がってきていただけないものかなと思います。しかし、今年も目標値が昨年と同じですよ、そのあたりを踏まえて目標値をもう少し頑張っていたらいいと思います。

(会長)

他に、同じことでも結構ですのでご意見ございませんか。

(委員)

私も同じところに付箋を付けていました。実績がないのにB評価とはどうかと気になりました。30年度には期待をしようと思っていますが、例えば他の市町村では、参加があったのでしょうか。

(事務局)

あるらしいです。

(委員)

みんなの意識の問題なのでしょうけど。

(事務局)

時期や方法を変えても参加が少なかった場合は、市民性の問題や実施方法のさらなる工夫が必要などの分析が出てくるかとは思っています。

(委員)

これは、夜だったのですか。

(事務局)

座学を夜行い、アウトドアなどを休日に行う予定でした。

(会長)

会議前に私も気になり、事情を聞いていただきました。公民館自体に男性の足が向かない状況というのが背景にあるという話だったようですので、むしろ公民館を男女共同参画化していただくということも必要になるのかなと思いました。

(委員)

燕市で言うと、公民館は改修されてロビーも明るくなりイスが置いてあったりということからなのか、男性の方が逆に多いかもしれないくらい勉強道具を開いたりしている光景を見かけます。ただ、在勤で低学年というとなかなか難しいのかもしれないですね。

(会長)

結構、地域には『おやじの会』のようなものがあつたりと、お父さん方で活発な方々もいますので、市民参画で計画していただくというやり方や、審議会の委員の方々にもご協力をいただくというやり方もあるのかなと思います。

(委員)

43 ページ『相談窓口』は、利用されている方がいることを数字で見えてよかったと思いました。

(委員)

施策の方向性を具体的に推進・啓発するという文言を使われていますが、達成率が満たされているものに関しては昨年度と同様くらいでよろしいかと思いますが、全く満たないとか、参加人数が少ないとか、特に自治会の活動に女性の参画が少ないなどと

という言葉が私はとても気になりました。それは推進・啓発という言葉の中には昨年度とは少し違う、また新たに事業を増やすというより、こういう呼びかけをどうしていく、もっと周知していくといった具体的なものは、去年より膨らんでいる感じでしょうか。項目やテーマがたくさんあり難しいかもしれませんがお聞かせ願いたいです。

(事務局)

周知・啓発のものに関しましては、国・県からの啓発依頼が来たものをそのまま啓発してありますというものが多いため、工夫してやり方を変えることは難しいです。それ以外の、自治会への呼び掛けなどは、何かしら工夫する余地はあるのではないかと思います。何か、良いご意見をいただくとありがたいところです。

(委員)

そういうご意見は自治会の方から上げていただくことはできないのでしょうか。

(事務局)

自治会に関しては、年1、2回ほど自治会長が集まる機会がありますが、その機会を利用して、「地域に女性役員を」「女性活躍を」という呼び掛けはしていますが、地域にはそれぞれ事情があり、話半分または聞き流す自治会長もいるかもしれませんし、真摯に取り組んでくださる自治会長もいるかもしれません。ただ、やはり啓発や呼び掛けは止めてはならないものだと思いますが、やり方についてはどうしても以前と同じまま行いがちです。何か参考になるご意見があると良いとは思いますが。

4. 第3次燕市男女共同参画推進プラン平成30年度計画について

(会長)

書面だけ見ていますと、だいぶ歯がゆかったり、どうなっているのかと感じたりしますが、とりあえず29年度のものについては、今いくつか大事な点を出していただいたということで29年度の振り返りも含めて、あるいは踏まえて次の次第4の第3次燕市男女共同参画推進プラン平成30年度計画について、もう先ほどからも30年度についてお話が出ていますが、ご説明をお願いしたいと思います。

<事務局から第3次燕市男女共同参画推進プラン平成30年度計画についての説明>

<質疑応答>

(会長)

ただいま事務局から説明がありました。内容について質問、意見などありましたらご発言いただきたいと思います。

(委員)

29年度のところでも意見させていただきましたが、6ページの中央公民館事業の『カッコいいパパになろう』は、去年と全く目標値が同じようですが。

(事務局)

今年は早めに動き周知徹底を図って、今度こそ目標を達成したいということです。

(委員)

それと、24ページの『まちづくり出前講座』、これも去年と全く同じ事業内容で目

標も同じですが、これもしっかりした取り組みをされる予定ですか。

(事務局)

これは相手から申し込みがないとまた未達成になるものになります。

(委員)

これも担当課に対しても意識付けがないと。今年は実績が上がるだろうと考えていてよろしいですか。

(事務局)

担当課はこういった学習の機会を提供をしているという点でシートを作成していますが、この学習を求める人が昨年はいなかった。そして今年はどうなのかというところですが、目標値としては20としています。

(会長)

申し込みがないから仕方ないとは、行政の方にはあまり言ってほしくないです。男女共同参画というのは堅いテーマだからなかなか人が来ない、29年度は書いてありましたが、それについてどうお考えなのかが分からないと市民としては。

(委員)

あとは39ページの『女性防災リーダー養成講座』です。事業名に『女性』をつけ装いも新たにということですが、昨年の達成率が0%で、今年が80%。これもやはり各自治会の役員次第なんではないでしょうか。啓発、啓発ですよ。

(事務局)

こちらにつきましては、単純に防災リーダー養成講座ですと男性も対象ですし、その中で女性が申し込みにくかったのかもしれませんが、今年女性を対象として行うことによって女性が参加しやすいものに変更しています。

(委員)

自治会長さんに、その旨を文書なりで促して、女性が参加しやすい雰囲気をつくるわけですね。では今年少しは望めるのかな。

(事務局)

はい、望めると期待しています。

(委員)

分かりました。私からは以上です。

(会長)

出前講座も29年度の今後の課題に、他のメニューとのコラボやテーマ名の変更等を検討する必要があると書かれていますので、30年度は反映させたいと思います。

(委員)

出前講座はホームページや広報でお知らせが回ってきますか。市民の方はどうやってこんな講座があることを知ることができますか。

(事務局)

冊子になっていまして、ホームページにもPDFにして載せています。

(会長)

委員にすらどこで見ることができるのかと思われるということは、もう少し在住在勤の方に情報が届くようにしていただく必要があるのかと思います。

(委員)

P T Aや、小学校に入る際の学校の説明を待つ間に、講演会のようなことをするようですが、それを一緒に、男共同参画でタイアップしてみてもどうでしょうか。そういう時にだいたい女性の大学の先生の講演会はよくありますが、あまり長い話ではなく短く詰めて、P T Aとかがお父さんの役割を話すとか。

(会長)

色んなバリエーションがあると思いますが出前講座みたいなものは良いです。担当は生涯学習推進係ですね。

(委員)

最低人数のしぼりはありますか。

(事務局)

5人以上集まればどこでも行きますという制度です。それを生涯学習推進係がとりまとめているのですが、そのメニューはそれぞれ担当部署が用意しています。

(会長)

ぜひ、子育てグループなどいろいろなグループに「5人以上なら活用できます」とPRし活用してもらえれば、もっとグループでの学習活動も充実しますし、出前講座の実績も上がりますし、男女共同参画の意識も浸透できるという、三方良しになるような気がしますので、ぜひ要望をお願いしたいと思います。

(事務局)

実行します。0%という結果には終わらせません。

(会長)

『カッコいいパパになろう』は公民館事業係が担当なのでですね。例えば審議会等と協働で企画するなど、いろいろな人・団体が関わってつくと、参加者もいろいろなところから来ていただけるのではないかと思います。

(委員)

男女共同参画と話がずれるかもしれませんが、男女共同参画の中に男女の出会いのような事業・テーマは入らないのでしょうか。

(事務局)

ここの事業に何の項目を上げるのが適切か、なかなか境があり難しいところです。昔は行政が施策として行うことではなかった男女の出会いですが、定住人口が減少し、出生数もだいぶ落ち込んでいる中、今はそんなことを言っている状況ではありませんので、施策として婚活パーティーや民間サークル『燕縁の会』の支援を行っています。これをどの分野の取り組みとして私どもが捉えているかというと、定住人口の増加ですので、男女共同参画に直接関わる扱いにはしていません。しかし、大事なことで実施はしています。他の自治体でもプランの体系からいって、この「出会いの場の創設」を男女共同参画に取り入れているところは少ないと思います。

(会長)

婚活パーティーだと主旨が変わってしまいますが、例えば、若い人が燕の地場産業について学び地場産業を盛り上げようというような企画があつて、男女ともに参加して一緒に学びながら交流して、結果的に出会いの場となるものであれば良いと思いま

す。そういうようなことで男女共同参画を、「べきだ論」や数字でどうこうではなく取り組んでいかないと、どうしても形骸化してしまうと思います。このシートに記入することが形骸化して、一応埋めることが作業になってしまうと、シートを作成した主旨が活かされず勿体ないと思いながら、今日見せていただきました。思考が停止しないように、前に前に進んでいけるようなことを考えていく必要があるのではないかと痛切に感じています。

(事務局)

ここに取り上げてはおりませんが、実は今言われた視点での取り組みは昨年度の後半から行っております。表立って『男女の出会いの場』とは言っていませんが、若手の人が異業種交流研修をとおして結果的に仲良くなってほしいと、主旨として男性も女性も一緒にということに取り組んでいます。確かに重要な視点だと思っておりますので、このプランの中に表せるかとなると難しいですが大事なことだと思っておりますので、そういうもののあげ方など今後は考えてみたいと思います。ありがとうございます。

また先ほどいただいた意見で、例えば介護のところでは、男性の割合にした方がいいのではないかとご指摘をいただいた点、そして、実績が0のものをB判定にしているのかという点についてどうするかですが。

先ほどの男性介護の関係につきましては、目標値は講座の受講者数よりは、参加した受講者のうちの男性の割合という形が望ましいと思われましたので担当課と協議させていただきます。

(会長)

そこだけだと言にくいと思いますので、審議会を踏まえた上で報告していただいたものについてフィードバックするという形にさせていただくと良いと思います。提出して何も言われなかったからいいではなく、理由を説明してとか、改善点についての指針がはっきりしてるというのではないかななどの自己評価に対する意見をフィードバックしていただくことが大事かと思っておりますし、審議会としても一生懸命考えて発言したものがちゃんと届くという形が本来あるべき姿かと思っておりますのでお願いいたします。そして、できれば次回からは、一番下の『成果または効果・今後の課題』には、ふりかえりやどう活かしたいかという、担当者がどう捉えてどう改善しようと考えているかを明示していただくと、もう少し一歩先の議論が審議会ですでできると思います。

(事務局)

今いただいたご意見を踏まえて、先ほど介護の関係で男性の参加割合にすると示させていただきましたが、いただいたご意見を担当部署にフィードバックし、最終的なものを次回の表彰選考委員会の際に少し時間をいただいてみなさんにお返ししたいと考えますのでよろしくお願いいたします。

(会長)

お願いします。他にご意見はございますか。

(委員)

私、実は『防災リーダー養成講座』に女性団体で参加しているのですが、何回か開催されるうち、毎回ではなく出られる時に出てくださいという方法で良かったです。『かっこいいパパ』も4回は多くないですが、でも4回と書かれると毎回出なければ

いけないのかと感じてしまうので、その辺も考慮すると参加者が見込めるかもしれません。毎回出られるか分からず申し込まない人もいるかもしれません。

(事務局)

今いただいたご意見は伝えさせていただきます。

5. その他

<次回の会議日程 事務局説明>

6. 閉会

以上